

石楠花会通信 Vol.78 (2020. 7)

このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、感染拡大により生活に影響を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

今回の石楠花会通信ではこのコロナウイルス禍の過程で成蹊大学と体育会ワンダーフォーゲル部、そして石楠花会、夫々の対応を記録として纏め、また令和2年の今後についてもご報告したいと思います。

□コロナウイルス禍の大学とワンダーフォーゲル部そして石楠花会

令和2年2月1日「新年 OGOB 現役交歓会」開催(OB16名・現役14名参加)

2月 5日 大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」で乗員乗客の感染を確認

2月23日 ワンダーフォーゲル部台湾春合宿中止決定

* 合宿中止の決定にあたっては現役三川主将、4年久保田くんへ花上会長より現在の状況認識についての提言や中止勧告など行いました

2月26日 安倍首相が大規模イベントの2週間自粛要請

2月27日 安倍首相が小中高校など3月2日からの全国一斉臨時休校要請

2月27日 成蹊会より「第42回成蹊桜祭」中止の発表

* 当会では4月5日開催予定の「令和2年度石楠花会総会」及び「桜祭 OGOB 現役交歓会」の中止を決定し石楠花会ホームページ上で告知しました

2月29日 大学学生部及び体育会 OBOG 会長連絡協議会より「新型コロナウイルスの対策について」発信

【主な内容】 ・3月2日～3月15日の春休み期間中の課外活動を全て禁止

・クラブ・団体等の合宿、追いコン、遠征試合、不特定多数が来場する行事の3月22日迄の禁止 等

3月11日 WHO「パンデミック」認定

3月20日 大学管財課及び踏高会から虹芝寮利用禁止の発表

* 当会では6月開催予定の「虹芝寮 OGOB 現役山行」の中止を決定し石楠花会ホームページ上で告知しました。
虹芝寮については当面の間利用禁止と発表されましたが、現時点では9月末まで利用禁止です

3月25日 都知事の週末外出自粛要請

同日 大学学生部及び体育会 OBOG 会長連絡協議会より「新型コロナウイルスの対策について」発信

【主な内容】 ・学内施設使用禁止措置の4月16日迄の延長

・施設利用禁止、対外試合禁止期間中のクラブ活動へのOB会の支援要請 ・新人勧誘活動について 等

4月 7日 首都圏など7都道府県対象の緊急事態宣言発出

4月 9日 大学学生部及び体育会 OBOG 会長連絡協議会より「新型コロナウイルスの対策について」発信

【主な内容】 ・学内施設使用禁止措置の5月6日迄の延長

・クラブ新人勧誘について音声映像配信アプリ「ZOOM」を利用して実施 等

4月16日 緊急事態宣言対象区域を全国に拡大

5月 4日 緊急事態宣言の全国一斉5月末まで延長決定

5月14日 39県で緊急事態宣言解除

5月21日 石楠花会より現役部員へ日常生活の状況確認を行う

* 62年次中村さんより現役部員の生活困窮者ヒヤリング要請があり実施するも三川主将より生活困窮者に該当す

る部員はいないとの連絡あり安堵

* 花上会長より「非接触型体温計」を現役に寄贈

5月25日 全国で緊急事態宣言解除

5月26日 体育会 OBOG 会長連絡協議会より「新型コロナ成蹊会生活支援金寄付制度」への寄付の依頼

* 当会より5口 50,000 円を寄付いたしました。この制度の詳細は「成蹊会誌 NO.131 号」をご確認ください

6月 9日 大学学生部より「課外活動の再開について」発信

【主な内容】 ・6月10日以降大学施設・構内の立入制限の緩和

・6月21日以降指定された屋外施設での利用と部活動の許可

・宿泊を伴う課外活動は9月末まで禁止 ワンダーフォーゲル部などの活動は別途相談にて決定する 等

6月16日 大学学生部より「課外活動再開に関して」発信

【主な内容】 ・課外活動の再開許可を7月末まで延長 ・8月以降の夏季休暇期間中については別途周知する

・校内運動競技大会の開催を9月中旬に予定 等

□新しい石楠花会、大学、体育会 OBOG 会長連絡協議会との関係

今回のコロナウイルス禍では成蹊大学も卒業式の中止、入学式の中止、施設内立入禁止や課外活動禁止などの緊急措置を行いました。その内容は学生部熊崎氏、体育会 OBOG 会長連絡協議会から逐一情報提供がなされ、その情報に沿って石楠花会も花上会長以下若手 OBOG の皆様迄が現役部員の山岳活動への助言や生活面での支援を LINE やメールで行ってきました。大学学生部と体育会 OBOG 会長連絡協議会そして体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会との密接な連携があつてこそその対応といえます。

大学体育会所属40団体の OBOG 会長約150名で構成される「体育会 OBOG 会長連絡協議会」は大学と現役学生との間に立ち、成蹊大学体育会の健全な発展のために有益な提言・支援を学生部及び体育会本部と連携を取りながら様々な活動を行っています。

これまで石楠花会は蹴球部やラグビーフットボール部のような順位を競う競技系クラブの OB 会活動とは一線を画す親睦団体的存在でしたが、今後は大学唯一の山岳系クラブの OB 会として、現役部員への支援、指導そして大学への様々な要請や協力を行う団体へ変化すべきではないか、また大学学生部、成蹊会、OB 会長連絡協議会との連携をより強化、相互の関係を深化させるなど、このコロナウイルス禍を契機として新しいカタチに変化していかななくてはならないと思います。

□令和 2 年度の体育会ワンダーフォーゲル部

『成蹊大学ワンダーフォーゲル部 2020 年度主将を務めさせていただきます。理工学部システムデザイン学科 3 年の三川真慧です。私は高校生の時に登山を始めて、それ以来登山の魅力に取りつかれ、現在に至ります。これまで多くの美しい景色に出会い、それと同じ数の苦難を経験してきました。山での生活は今の自分を形作っていると言っても過言ではありません。特に印象深かったことは、高校 1 年生の時に初めて挑んだ長期合宿で登った赤石岳からの景色です。私があの時山で感じた感動を後輩たちにも知ってもらいたいです。そのためにも後輩たちが楽しめる登山計画を心掛けていきたいです。

現在新型コロナウイルスの影響で部活動が出来ない状況が続いています。幸いなことに、新入部員 3 人を迎えること

ができ、外出自粛が解除され、部員全員で登山できる日を心待ちにしております。』

そして今年度の活動再開については、、、

『先日行った部内ミーティングで決定した今後の予定についてご報告します。ワングルとしての活動再開は8月。キャンプができて簡単な登山ができる山中湖や赤城山で、新歓と合宿を兼ねた山行を行いたいと考えています。8月から11月までは月1回程度の合宿を例年通り行う予定です。新入生も新たに2人入部を検討中です。夏に活動再開できるように努力します。』

今年度の体育会ワングル部は4年3名、3年4名、2年5名と新人1年3名の総勢15名で活動をして参ります。現状ではアルプスの山小屋も営業中止が多く、入山規制などもありアルプスでの夏山合宿も望めない状況ですが、できる限りモチベーションを保つような活動を3年、4年部員にはお願いしたいと思います。秋の虹芝寮で今年の新人さんにお会いできるのを楽しみにしたいと思います。皆様よろしく申し上げます。

□令和2年度新入部員紹介

三川主将の報告にもありましたが、今年度体育会ワングル部には6月末時点で3名の新人が入部しております。三川君以下の3年生が対面での勧誘や山に連れていくこともできない中、SNSを駆使してワングルや山登りの魅力をうまく発信してくれた賜物だと思います。

【令和2年度新入部員プロフィール】

名前: 高橋豪

所属: 法学部 出身: 神奈川県横浜市

入部動機: 中伊豆で見た富士山に魅了され、もっと自然の中でしか味わえない楽しさを感じてみたいから
山にまつわるエピソード: 山とは無縁の人生だったが、いつか入部するきっかけになった富士山に登りたい

名前: 石川直輝

所属: 法学部政治学科 出身: さいたま市

入部動機: 元々山が好きで今までただの趣味で登山をしていたが、本格的にしてみたくなり入部した。
山にまつわるエピソード: 立山連峰の雄山に登ったとき標高が3000mを超えたことにとっても感動した。

名前: 片岸俊治

所属: 経済学部経済数理学科 出身: 東京

入部動機: 山登りが嫌いでも無いことと身体を動かしたかったこと

山にまつわるエピソード: 小さい頃に便意の余りに大人が目安とするコースタイムで下山したこと

□石楠花会会費・寄付金払い込みのお願い

石楠花会会費は年間3,000円です。石楠花会会費は現役学生の活動支援、万一の遭難対策、そして石楠花会を円滑に維持運営する為に不可欠な資金です。

昨年度末以降コロナウイルス禍の影響で定例行事も開催できず当会の収入が例年になく少ない状況です。コロナウイルス禍後のワングル活動再開のためにも、皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

会費の払い込みは同封の払い込み用紙により『日本郵政』または『三菱UFJ銀行』口座経由にてお願いいたします。

尚、複数年払いをご希望の方は5年分15,000円を上限としてお支払いが出来ます。それ以上の金額はご寄付として処理させていただきますので何とぞご了承ください。払い込みいただいた方々の氏名は石楠花会通信紙上にてご報告いたします。

振込先:

【ゆうちょ銀行】口座番号「00120-4-358653」 加入者名『石楠花会』

【三菱UFJ銀行】西川口支店 普通口座 0610534 『石楠花会幹事 松田武雄』

□訃報

62年次 金山田鶴子さん 令和2年4月ご逝去なされました

* 金山さんは石楠花会初の女性幹事として「55周年記念事業」実施にあたり62年次同期の皆さんと共に石楠花会活動にご尽力を賜りました。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

踏高会会員 磯野剛太さん(元日本山岳ガイド協会会長) 令和2年3月ご逝去なされました

* 磯野さんは1984年にカンチェンジュンガ中央峰の日本人初登頂の他数々のヒマラヤ遠征隊のリーダーとして活躍、また祝日「山の日」制定に向けた協議会を設立し代表に就任するなど「山の日」祝日化の立役者でもありました。当筆の現役時代、谷川岳虹芝寮で成蹊アルピニズムを山の仲間と語り、「成蹊山岳団体遭難対策協議会」を立ち上げたたいせつな仲間でした。

謹んで哀悼の意を表します 合掌

□新しい日常を生きる

このコロナウイルス禍の渦中で私たちは様々な変化、今までと違う日常を生きることを求められています。例えば自粛生活、テレワーク、オンライン会議、ソーシャルディスタンス、デリバリー。分かってはいても我慢や変化することはいささかつらいです。でもこのコロナウイルス禍の先に新しいカタチや理想が見えていれば、我慢もできるし、変わることも怖くないのではないかと思います。自分のため、私たちの子供、孫たちのため、勇気をもって我慢し、変わりましょう。そして明るく今を生きていきましょう。

そうは思いながら、最後は神様にお願いもしたくなります。朝、新聞を読んでいたらこんな俳句が目飛び込んできました。

南無金剛病魔退散^{しろうちわ}白団扇 長谷川 權 (2020年6月19日朝日新聞より)

この新型コロナウイルス感染拡大の一日も早い終息を願うと共に、皆さまの安全とご健康を心よりお祈り申し上げます。併せて令和2年度の石楠花会並びに体育会ワンダーフォーゲル部を何卒よろしくお祈り申し上げます。

74年次 千葉